

成果指標設定調書

【成果指標の設定】

成果指標設定年度

令和3年度

市町村名	志木市			
提案事業名	川を舞台とした地域活性化と健康増進事業			
事業期間	令和 3 年度 ～ 令和 3 年度			
事業の必要性、目的	魅力ある水辺空間の整備・拡充を図るため、埼玉県と連携して取り組む「川の国埼玉はつらつプロジェクト」において整備するいろは親水公園を中心とした水辺空間に、「新たな人の流れを創出するウォーキングコースの整備」を実施することで、健康増進事業とも連携したにぎわい創出を図るものである。			
成 果 指 標	(成果を検証する指標) いろは健康ポイント事業への参加者数			
	(成果検証の具体的な方法) いろは健康ポイント事業の令和3年度参加者数			
	(上記の指標を設定した理由) 本市が市民の健康づくりを目的として普及に取り組んでいる「いろは健康ポイント事業」では、ウォーキングへの意識の高揚につながる様々な取組を展開しており、今回整備するウォーキングコースも本事業の取組の中で利用を促進することから、指標に設定した。 (R2: 3,030人→R3: 3,230人)			
	(成果の目標値)			
	現状値 (R3年3月現在)	3,030人	目標値 (R4年3月時点)	3,230人
	(施設建設等の場合)			
	年間利用者数(目標)(人)		稼働率(目標)(%)	
住民への公表方法及び特記事項				

【成果指標と構成事業の関連性】

令和3年度 構成事業

構成事業名		概要・成果指標との関連性	事業費（千円）
①	ウォーキング コース施設整備 ハード	本市が市民の健康づくりを目的として普及に取り組んでいる「いろは健康ポイント事業」では、ウォーキングへの意識の高揚につながる様々な取組を展開しており、その一環として、今回整備するウォーキングコースを広報や市ホームページで広く周知を行うとともに、街中歩きを推奨することで、健康増進にも資するにぎわいづくりを実現することができる。	15,743
②	ハード ソフト 間接補		
③	ハード ソフト 間接補		
④	ハード ソフト 間接補		
合計			15,743

【成果指標の達成見込み】

目標達成のための具体的な方策	広報紙やホームページなど広報媒体を活用した情報発信を効果的に実施していく。また、40～50代の働く世代が参加しやすい仕組みとして、スマートフォンアプリでも事業に参加ができるよう新たな環境を整備する。
成果指標の達成見込み	上記方策により、指標を十分達成できると考える。

(記入上の注意)

【成果指標の設定】

・住民への公表方法は具体的に記述すること

【成果指標と構成事業の関連性】

・提案事業を構成する各事業(構成事業)について次のとおり分類すること

「ハード」 施設建設等が中心の事業(ハード事業)。

「ソフト」 主に人的要素を活用した活動でハード事業以外の事業(ソフト事業)。

「間接補」 青年会議所、商工会議所・商工会、自治会、NP0等の公共的団体が実施する事業
に対して市町村が補助金を交付するもの(間接補助事業)。

・事業費は補助金を要望する単年度の事業費のみ記入すること。また、間接補助事業の場合には、
事業費の下に()書きで、市町村の負担額又は補助額を記入すること。